

取組と目標に対する自己評価シート

年度	平成 30 年度
----	----------

前期（中間見直し）

実施内容
<ul style="list-style-type: none">・介護予防教室出前講座の実施～実施回数 13 回 参加者数 239 人・通いの場リーダー研修の実施～実施回数 9 回 参加者数 31 人・シニア元気アップ講座の実施～実施回数 3 回 参加者数 149 人（事業終了）
自己評価結果
<ul style="list-style-type: none">・介護予防普及啓発事業として実施している介護予防教室出前講座は年間実施回数 50 回以上を目標値として実施しているが、目標達成するために周知啓発を強化する必要がある・通いの場リーダー研修については、後期の実績を見て評価する。・シニア元気アップ講座は地域のリハビリテーション専門職の協力を得て、地域で実施するサロン活動のリーダー的役割をしているサロンサポーターを対象とすることで、100 人以上の参加があり、アンケートでの満足度も高かった。
課題と対応策
<ul style="list-style-type: none">・介護予防教室出前講座について、更なる周知として、社会福祉協議会が実施するサロンサポーター連絡会等で再周知を実施する。

後期（実績評価）

実施内容
<ul style="list-style-type: none">・介護予防教室出前講座の実施～実施回数 55 回 参加者数 736 人（事業終了）・通いの場リーダー研修の実施～実施回数 9 回 参加者数 39 人（事業終了）・シニア元気アップ講座の実施～実施回数 3 回 参加者数 149 人（事業終了）
自己評価結果
<ul style="list-style-type: none">・今年度、年間 50 回以上の実施を目標としていた介護予防教室出前講座については、55 回実施し、延べ 736 人の参加があったことから、一定の効果が得られたと判断している。・通いの場リーダー研修は、継続して参加する人が少なく、次年度からは地域のリハビリテーション専門職を活用した事業に変更し、内容の充実を図ることとする。
課題と対応策
<ul style="list-style-type: none">・介護予防の普及啓発については、個人志向の強い高齢者も多い現状を踏まえ、現行の 5 人以上の住民団体の活動の場に出向く方法に加え、市内 3 か所の公共施設で定期的に介護予防教室を実施する。・さらに介護予防効果を高めるため、通いの場リーダー研修とシニア元気アップ講座を統合し、地域のリハビリテーション専門職を活用した地域介護予防活動支援事業を行う。・一般介護予防事業の評価として、プロセス指標とアウトプット指標のほかに実際に介護予防としての効果を見ることができるよう評価方法について検討していく必要がある。